

香芝市における地域公共交通の抱える問題等について

質問１ 香芝市の地域公共交通の抱える問題等について思うことは何でしょうか？

- ・デマンドタクシーの利用方法について周知を図る。（乗合の意識が低いのでは？）
- ・コミュニティバスの運行途上で、後退や転回が必要な経路の見直し。（危険度が増す）
- ・バスを利用している人からは、バス運行に対して良い評価をいただいているが、バスを利用出来ない人や利用しない人は、未だ現行のバス運行に対して疑問を持っていると考えられる。このことは協議会でも継続的に議論されているところである。
- ・デマンド交通を始めるときの基本的な考えに添った方法にすべきだと思います。香芝市には公共のバス、私鉄・JRと整っているの、基本はそれを利用し補足するという考え方で動いて欲しい。本当に使いたい人が使いたい時に使えないという人が出てきている。
- ・人口減少、少子高齢化が進行し、人口構造が変化することが今後本市においても懸念される中、地域住民の移動手段の確保や交流の活性化等地域公共交通の役割とデマンド交通及びコミュニティバスの２つの地域公共交通を運行することの財政負担（税負担）をどのように解消するのか。また、２つの地域公共交通を利用されない市民の方々の理解などを、今後どのように得ることが出来るのか。

質問２ その問題等について、解決に向けた取り組みや施策、アイデアがありましたら、お書きください。

- ・タクシーについては、利用方法がわかりやすい（乗合である旨等）冊子等を作成する。
- ・バス停数を整理し、乗場を減らしてはどうか。
- ・バスを利用出来ない（バス停が遠い）人は、バスの運行範囲を広げてほしいと考えている。バスを利用しない人は、バス運行にかかる経費をもっと減らす（路線を減らす、便数を減らす、受益者負担を増やす等）べきだと考えている。市もかかる経費は抑えたい。問題解決には全体の声をさらに聞き、議論・検討を続けるしかないのではないかと。
- ・誰でもどこへでもは必要ない。（弱者というとらえかたをするなら、誰でもが利用できるという形を変えるべきである。使える人を制限するとか。）
- ・買い物弱者の場合、スーパーとかに依頼して、週一回車を出してもらうなどはどうか。最近では、病院の送迎バスやコープなどもあるので、行政がそこまでする必要があるのだろうか。（５０代の健康な人が便利だからと言って、買い物に使っている。９０代の方がバスで駅まで出て、病院のバスに乗ったり、買い物をしている。少しアンバランスな感じがする。）
- ・適正な受益者負担の検証、他の地方公共団体の事例、路線ごとの費用対効果などを調査・検証することにより、持続可能な地域公共交通の運営を構築させる必要がある。

質問3 解決に向けた取り組みや施策、アイデアについて、所属団体として、できる取り組みがありましたらお書きください。
<ul style="list-style-type: none">・実調等をもっと活用し、思い切った合理化を行う。・道路が狭い市街地へバス路線を拡張する為には、市街地の道路整備を進める必要がある。ただし、バスが走れるように道路を拓げるには相当な財源と時間を要する。
質問4 今後、所属団体で予定している事業等について、何かございましたらお書きください。
<ul style="list-style-type: none">・特になし。
質問5 その他、意見がありましたらお書きください。
<ul style="list-style-type: none">・住民の意見を取り込みすぎではないのか？（出来ないことは出来ない）・コンサルをもっと活用し、事業者を交えて打合せをすべきだと思います。・デマンドの業者を3年ごとで変更するのはどうかなと思います。新しい業者となると、車、人を増やすことになり、次回の業者選定で落ちてしまうと経営的には厳しいとおもうので、もう少し長くてもよいのでは。